

JOMF 派遣医師便り (2017.5)

◆マニラ◆

マニラの空気は汚いのでしょうか？ → 残念ながらそのようです。

マニラ日本人会診療所

菊地 宏久

花粉症にはかからなくなっただけマニラに来たら咳が多く出るようになりました。ジプニーやバスが真っ黒な排気ガスを出してブブブブブと走っています。朝方、家の窓から遠くを見ると地平線の境界がぼやーとはっきり見えません。このような話を患者さんからよく聞きます。

4月下旬にASEAN会議がマニラで行われたとき4月28, 29日は公共機関や多くの企業が休日になりマニラ内の交通も規制されました。この間はマニラ市内を走る車の数が非常に少なく、その影響もあってか遠くまで景色も見渡せました。

新しくマニラに来られた方々から、マニラの空気は汚い、というお話をよく聞きますが本当にそうでしょうか。単なる印象だけなのかどうか、調べてみました。

マニラのAQI (air quality index) は早朝は100以下、日中の時間は(100-200)の値が多いようです。(日本の日中はAQIは50-100前後が多い)

一般にAQIは以下のような基準が設けられています。

0-50 : 良い (good)

51-100 : 並 (moderate)

101-150 : 健康上リスクのある人にとって健康に良くない (unhealthy for sensitive group)
喘息や慢性の心肺疾患がある方にはよくない環境です。

151-200 : 健康な人にとっても、健康に良くない (unhealthy)

201-300 : きわめて健康に良くない (very unhealthy)

301-500 : 危険 (hazardous)

残念ながらマニラの空気はあまりきれいではないようです。患者さんの病態だけでなく、生活圏のAQIに応じた健康アドバイスも大切だと思います。

(参考)：以下に AQI 指数との関連で行動上注意すべき事項が書かれています。(AQI は同じ地域でも季節や時間帯によって値が変わります)

指数と注意すべき事項				
指数	健康影響			
	オゾン	粒子状物質(PM10,PM2.5)	一酸化炭素	二酸化硫黄
0 - 50	なし	なし	なし	なし
51 - 100	非常に敏感な人は、屋外での長時間または激しい活動を減らすよう検討する必要がある。	非常に敏感な人は、長時間または激しい活動を減らすよう検討する必要がある。	なし	なし
101 - 150	運動する人や、喘息などの呼吸器疾患を持つ人は、屋外での長時間または激しい活動を減らす必要がある。	心疾患や肺疾患を持つ人、高齢者、子供は、長時間または激しい活動を減らす必要がある。	狭心症などの心疾患を持つ人は、激しい活動を制限し、(一酸化炭素排出量が多い)交通量の多い場所などを避ける必要がある。	喘息を持つ人は、屋外での活動を制限する必要がある。
151 - 200	運動する人や、喘息などの呼吸器疾患を持つ人は、屋外での長時間または激しい活動を中止する必要がある。それ以外の	心疾患や肺疾患を持つ人、高齢者、子供は、長時間または激しい活動を中止する必要がある。それ以外の人でも、長時間	狭心症などの心疾患を持つ人は、活動を制限し、(一酸化炭素排出量が多い)交通量の多	子供、喘息を持つ人、心疾患や肺疾患を持つ人は、屋外での活動を

	<p>人でも、特に子供は、屋外での長時間または激しい活動を減らす必要がある。</p>	<p>または激しい活動を減らす必要がある。</p>	<p>い場所などを避ける必要がある。</p>	<p>制限する必要がある。</p>
201 - 300	<p>喘息などの呼吸器疾患を持つ人は、全ての屋外活動を中止する必要がある。それ以外の人でも、屋外での運動は中止する必要がある、特に子供は、屋外での活動を減らす必要がある。</p>	<p>心疾患や肺疾患を持つ人、高齢者、子供は、全ての屋外活動を中止する必要がある。それ以外の人でも、長時間または激しい活動を中止する必要がある。</p>	<p>狭心症などの心疾患を持つ人は、活動を制限し、（一酸化炭素排出量が多い）交通量の多い場所などを避ける必要がある。</p>	<p>子供、喘息を持つ人、心疾患や肺疾患を持つ人は、屋外での活動を中止する必要がある。それ以外の人でも、屋外での活動を減らす必要がある。</p>
301 - 500	<p>全ての人が屋外活動を中止する必要がある。</p>	<p>全ての人が屋外活動を中止する必要がある。特に、心疾患や肺疾患を持つ人、高齢者、子供は、屋内に留まって激しい活動を避け静かに過ごす必要がある。</p>	<p>狭心症などの心疾患を持つ人は、活動を制限し、（一酸化炭素排出量が多い）交通量の多い場所などを避ける必要がある。それ以外の人でも、激しい活動を制限する必要がある。</p>	<p>子供、喘息を持つ人、心疾患や肺疾患を持つ人は、屋内に留まる必要がある。それ以外の人でも、屋外での活動を中止する必要がある。</p>

出典：“Technical Assistance Document...”、アメリカ環境保護庁、2009年、10-11頁。